

| | | | |
|-----|------------|------|--|
| 科目名 | 運動器障害理学療法学 | 担当教員 | 小林 巧 小林 匠 山中 正紀 神成 透 角瀬 邦晃 ※印は実務経験のある教員を示す。 |
|-----|------------|------|--|

| 開講専攻 | 分野 | 種別 | 配当年次 | 開講時期 | 単位数 | 授業形態 |
|-----------|------------------------|----|------|------|-----|------|
| 理学療法学専攻 | 専門科目 | 選択 | 3年次 | 前期 | 2単位 | 講義 |
| ナンバリングコード | 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 | | | | | |
| HR31E | ② | | | | | |

| | |
|------|---|
| 科目概要 | 運動器疾患に対する基本的な理学療法評価および治療を行うために必要な知識を身につけることを目的とする。骨折や靭帯損傷などの外傷、リウマチや関節症などの整形外科疾患に関して、「運動器障害基礎論」において学んだ各疾患の病態や医学的な治療法と「理学療法基礎評価学Ⅱ」で学んだ評価方法および評価手技に関する知識を統合して、運動器疾患の理学療法を行うための評価・治療理論を身につける。さらに運動器疾患の術前・術後におけるリスク管理を学習する。 |
| 学習目標 | ① 代表的な運動器疾患に対する基本的な理学療法評価・治療の知識を身につける。 ② 代表的な運動器疾患に対する術前・術後のリスク管理に関する知識を身につける。 |

| 回 | 項目 | 主な学習内容 | 到達目標 | 実務経験 教員担当 項目 |
|----|---------------|-----------------|----------------------------------|--------------------|
| 1 | 運動器障害理学療法の評価1 | 運動器障害理学療法評価の基礎① | 運動器疾患に対する理学療法評価の流れを理解する。 | |
| 2 | 運動器障害理学療法の評価2 | 運動器障害理学療法評価の基礎② | 運動器疾患に対する理学療法評価の流れを理解する。 | |
| 3 | 関節可動域エクササイズ | 関節可動域エクササイズ（理論） | 関節可動域エクササイズの基本的な考え方を理解する。 | |
| 4 | 筋力トレーニング | 筋力トレーニング（理論） | 筋力トレーニングの基本的な考え方を理解する。 | |
| 5 | バランストレーニング | バランストレーニング（理論） | バランストレーニングの基本的な考え方を理解する。 | |
| 6 | 股関節1 | 股関節疾患（病態・理論） | 代表的な股関節疾患の病態と治療法を理解する。 | |
| 7 | 股関節2 | 股関節疾患（評価） | 代表的な股関節疾患に対する基本的な理学療法評価を理解する。 | |
| 8 | 膝関節1 | 膝関節疾患（病態・理論） | 代表的な膝関節疾患の病態と治療法を理解する。 | |
| 9 | 膝関節2 | 膝関節疾患（評価） | 代表的な膝関節疾患に対する基本的な理学療法評価を理解する。 | |
| 10 | 足部・足関節1 | 足部・足関節疾患（病態・理論） | 代表的な足部・足関節疾患の病態と治療法を理解する。 | |
| 11 | 足部・足関節2 | 足部・足関節疾患（評価） | 代表的な足部・足関節疾患に対する基本的な理学療法評価を理解する。 | |
| 12 | 肩関節1 | 肩関節疾患（病態・理論） | 代表的な肩関節疾患の病態と治療法を理解する。 | |
| 13 | 肩関節2 | 肩関節疾患（評価） | 代表的な肩関節疾患に対する基本的な理学療法評価を理解する。 | |

| | | | |
|----------------------------|------|--|------------------------------|
| 14 | 体幹 1 | 体幹疾患（病態・理論） | 代表的な体幹疾患の病態と治療法を理解する。 |
| 15 | 体幹 2 | 体幹疾患（評価） | 代表的な体幹疾患に対する基本的な理学療法評価を理解する。 |
| 評価方法 | | 筆記試験（90%）・講義に対する姿勢（10%） | |
| 課題に対するフィードバック | | 1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。 | |
| 教科図書 | | 細田多穂・編『運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版』南江堂、2016年 | |
| 参考図書 | | 医療情報科学研究所・編『病気がみえる vol.11 運動器・整形外科』メディックメディア、2017年 工藤慎太郎・著『運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略』医学書院、2017年 整形外科リハビリテーション学会・編『関節機能解剖学に基づく 整形外科運動療法ナビゲーション』メジカルビュー社、2014年 石井慎一郎・監『膝関節理学療法マネジメント』メジカルビュー社、2018年 片寄正樹・監『足部・足関節理学療法マネジメント』メジカルビュー社、2018年 永井聡、他・編『股関節理学療法マネジメント』メジカルビュー社、2018年 石川朗、他・編『運動器障害理学療法学 I・II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト』中山書店、2011年 相澤純也・監『クリニカルリーディングで運動器の理学療法に強くなる!』羊土社、2017年 | |
| 学習の準備 | | 1 （予習）運動器障害基礎論の内容および教科書の該当箇所を熟読しておくこと（90分） 2 （復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分） | |
| オフィスアワー | | 月曜日 13 時~14 時半、その他在室時はいつでも可 | |
| 担当教員欄に※印を付した教員の実務経験 | | | |